



いつまで経っても、放射能問題
 そして今度はトリチウム
 トリチウムを海にやった場合、どうなるかわかんないけど
 どうしても、ほんとに止めたいのよ
 せつかく、こうして検査してきて、きれいになったのによ
 なんでもねえらたつて
 そんなもん、だれもわかることではないでしょう
 そんなもん、初めてなんだから
 俺は今のごとでなくて、五十年、百年後を見据えて、
 俺の子どもたち、孫たち、その代々つてよ
 海つてよ、百年つかうんだか、一億年つかうんだか
 海つてのは無限大なんだから
 この海が汚れたとなれば、イメージが悪くなったら
 また復活するのに五十年、百年かかったら
 福島県で、漁師なんかやる人いなくなるよ
 なんぼ国が「大丈夫だ」って言ったつて
 こういう放射能、今のトリチウムなんてのは
 海に絶対流してもらったら困るのよ

福島県のある漁師さんの訴えより

地下水バイパスや
サブドレン水等の
排水開始時も
福島県民や
漁民たちに
苦渋の決断が
迫られた！

放射性物質を強くネガティブに
海洋放出
反対！

地下水バイパス 53万m³, 0.073兆Bq
 (2014.5.21排水開始～2020.2.5に308回排水)

サブドレン水等 84万m³, 0.54 兆Bq
 (2015.9.14排水開始～2019.12.16に1,175回排水)

最高326万Bq/Lの高濃度トリチウムを含む
トリチウム汚染水 118万m³, 860兆Bq

「告示濃度限度6万Bq/Lを満たせばよい」というのは「一般公衆の被ばく線量限度1mSv/年」を担保する法令(告示)に違反！

2016年3月における敷地境界線量 合計約0.966mSv/年		0.72 mSv/年
直接線・スカイシャイン線起因線量(タンク)	約0.21 mSv/年	
同上(タンク以外の固体廃棄物及び設備)	約0.44 mSv/年	
構内散水	約0.066mSv/年	
液体起因線量(地下水バイパス・サブドレン等)	約0.22 mSv/年 →	0.22
気体起因線量	約0.03 mSv/年 →	0.03

地下水バイパス等運用目標(告示濃度限度、比)

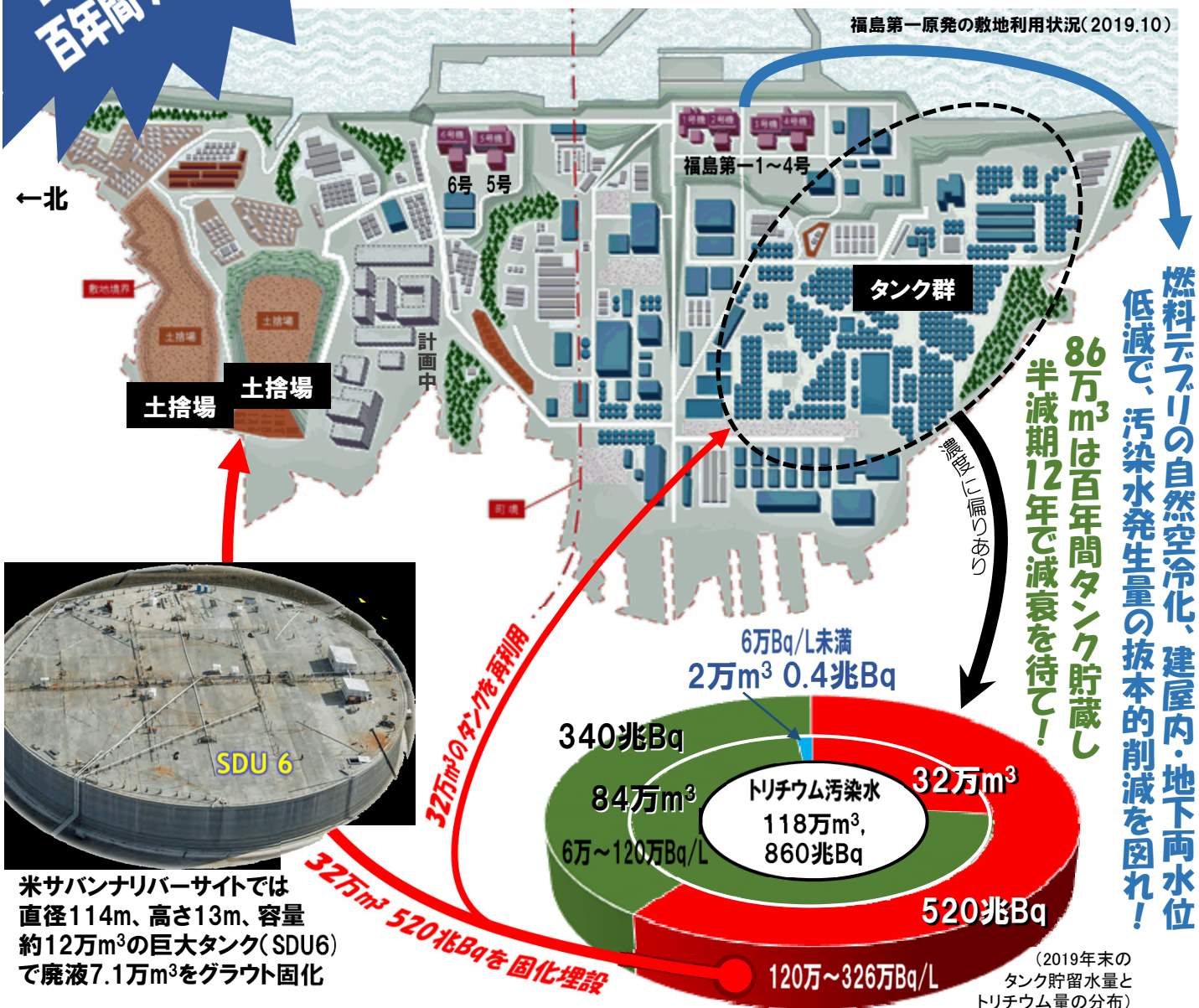
セシウム134	1Bq/L (60, 0.0167)
セシウム137	1Bq/L (90, 0.0111)
全β(ストロンチウム90)	5(1)Bq/L (30, 0.167)
トリチウム	1,500Bq/L (6万, 0.025)
合計(-, 0.219)	

0.22mSv/年の告示規制に相当 ←

(第2回多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会(2016.12.16)での東電の説明)

代替案はある！
土捨場での固化埋設と
百年間タンク貯蔵の併用

トリウム以外の核種を「地下水バイパス等運用目標」未満へ処理した上で、
超高濃度トリウム32万m³、520兆Bqを固化埋設し、
他の86万m³、340兆Bqは100年間タンク貯蔵すべき！



「海洋処分については、関係国の懸念を無視して行わない
との考え方の下に、その実施については慎重に対処する。」
(平成5年度原子力開発利用基本計画, 1993.3.30内閣総理大臣)

「低レベル放射性廃棄物の海洋投棄は、国際原子力機
関の基準等に則って行えば、公衆の健康に特段の影響
を与えるものではないと考える。しかし…政治的、社会
的見地から今や極めて困難と言わざるを得ない。…我
が国としては、今後、低レベル放射性廃棄物の処分の
方針として、海洋投棄は選択肢としないものとする。」
(1993.11.2原子力委員会決定)

そもそも、「海洋投棄を選択肢としない」との原子力委員会決定違反だ！